

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂		第1,2学年 第3,4学年 第5,6学年	図工101, 102 図工301, 302 図工501, 502
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標, 内容等	<p>○ 造形遊びをする活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 土を掘って触り心地を味わったり、落ち葉などの自然の材料を集めて組み合わせたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第 3,4 学年～ 空気を入れた袋を積み重ねてつないだり、段ボールを切って組み合わせたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第 5,6 学年～ 集めた落ち葉を色分けして地面に模様をいかしたり、学校のいろいろな場所を生かして、来た人を楽しませる飾りを考えたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>○ 絵や立体、工作に表す活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 手や指を使って絵の具でかいたり、カッターナイフを使っているいろいろな線を切ったりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第 3,4 学年～ 凹凸のある身近な材料を台紙に貼って版画に表したり、のこぎりで切った板を組み合わせ楽しく使えるものをつくり出す活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第 5,6 学年～ 地域のすてきなものを絵に表したり、光の美しさを生かした飾りをつくり出す活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>○ 鑑賞する活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ いろいろな紙を触って紙の違いや感触を話し合ったり、身近なものを使って何かに変身するよさを友達と一緒に感じたりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。</p> <p>第 3,4 学年～ 自然の材料の中から気に入ったものを集めて空き箱に並べた作品のよさを友達と話し合ったり、絵から感じた音について交流して感じ方の違いを味わったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。</p> <p>第 5,6 学年～ 作品をよく見て表し方の似ているところや違うところを話し合ったり、我が国や諸外国の龍の作品を見て形や色の違いなど作品のよさを味わったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。</p> <p>○ [共通事項]については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ 粘土で好きなものやつくりたいものを見つけてつくったり、紙や紙製品を使って飾るものや遊ぶものをつくり出す活動を通して、形や色などを基に、自分のイメージをもつ活動</p> <p>第 3,4 学年～ 線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫して絵に表したり、色厚紙でつくった箱を組み合わせ入れ物をつくり出す活動を通して、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ活動</p> <p>第 5,6 学年～ 季節から受けたイメージを絵に表したり、板材を加工して生活で役立つ入れ物や木箱をつくり出す活動を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ活動</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ 「こころのはなをさかせよう」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、飾りを見た人が楽しくなるためにはどうすればよいかを考え、友達と話し合い、力を合わせて飾り付けるなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 3,4 学年～ 「わくわくネイチャーランド」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽しい遊び場にするにはどうすればよいかを考え、友達と話し合い、力を合わせて遊び場をつくるなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 5,6 学年～ 「同じもの、たくさん」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、同じものを集めて場所とどう組み合わせるかを考え、友達と話し合い、力を合わせて場所の特徴を生かしながら手を加えるなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・ 排列、 分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第 1,2 学年～ 土の触り心地を楽しむ造形遊び、色水を自由につくる造形遊びなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 3,4 学年～ 光と影の飾りづくり、板や紙などの様々な材料の工作など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 5,6 学年～ アルミ針金などの線材を使った工作、身近な材料を用いて新しい製品をつくるなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 「造形遊びをする活動」が 13 ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が 59 ページ、「鑑賞する活動」が 24 ページであり、総ページは 114 ページで、前回より約 27 % 増となっている。 (判型は A 4 判)</p> <p>第 3,4 学年～ 「造形遊びをする活動」が 8 ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が 65 ページ、「鑑賞する活動」が 23 ページであり、総ページは 114 ページで、前回より約 27 % 増となっている。 (判型は A 4 判)</p> <p>第 5,6 学年～ 「造形遊びをする活動」が 8 ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が 56 ページ、「鑑賞する活動」が 30 ページであり、総ページは 114 ページで、前回より約 21 % 増となっている。 (判型は A 4 判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「みんなのギャラリー」に、「アートキャラバン（美唄市）」（第 1,2 学年下）や、「白楊アイス・スノーキャンドル（札幌市）」（第 3,4 学下）を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末の「造形の引き出し」（全学年）に、表現内容の要素を紹介したり、材料や用具の使い方を掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、旭川美術館を活用できるよう「学びの資料」の中に美術館が紹介されるとともに、自然を生かした題材として「さらさらどろどろいいきもち」、「わくわくネイチャーランド」が掲載されている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTの活用については、「マイキャラが動き出す」の中で、デジタルカメラやタブレットによる連続撮影を使った題材が紹介されている。また、「つながる造形」の中で、作品を動かしたり色と動きを変化させる題材が紹介されている。 ○ 小・中連携による指導については、第 5,6 学年下「つながる造形」の中で中学校に向けての内容が掲載されている。
本市児童の学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品を制作する中で、制作活動を振り返ったり、見直しをもって学習を進めることができるよう、造形表現活動のプロセスを整理する工夫がなされている。 ○ 児童同士が対話などの交流を通して感じ方や考え方を深めることができるよう、鑑賞の題材を各学年 4 ページとし、幅広い授業展開を可能にするなどの配慮がなされている。
その他	

観 点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		116・日文		第1,2学年 第3,4学年 第5,6学年	図工103, 104 図工303, 304 図工503, 504
取扱内容	<p>○ 造形遊びをする活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 砂や土に触れながらいろいろな形をつくったり、段ボールを切ってつなげたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第 3,4 学年～ 身近な場所にひもを結んでつないだり、窓から見える景色に様々な形や色のセロハンを重ねて貼り付けたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第 5,6 学年～ 光や影の特徴を生かして色などの美しさを味わったり、集めた落ち葉を色分けして地面に模様をかいたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p>				
学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 絵や立体、工作に表す活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 空き箱を組み合わせて形をつくったり、インクを付けたローラーを転がしてできた形を基に絵に表したりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第 3,4 学年～ 用具を使って粘土の形を変えたり、色づくりや筆使いなどを工夫して花をかいたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第 5,6 学年～ 電動糸のこぎりで曲線切りした板を組み合わせてパズルをつくったり、墨の濃さを変えながら思いのままにかいたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p>				
	<p>○ 鑑賞する活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 身近なものを粘土で写し取った凹凸の形の面白さを話し合ったり、様々な色や形の透明な紙を重ね合わせて見える形の特徴について話し合ったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。</p> <p>第 3,4 学年～ 葉や小石を並べて自然のよさや面白さを感じ取ったり、美術作品の人物の動作を真似て感じたことを友達と交流したりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。</p> <p>第 5,6 学年～ 美術作品やいろいろな模様をカードにして友達と話し合ったり、日本の美術作品に触れてよさや美しさを味わったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。</p>				
	<p>○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ 紙を切つていろいろな形をつくって教室に飾ったり、毎日の生活の中で感じたことを絵に表したりする活動を通して、形や色などを基に、自分のイメージをもつ活動</p> <p>第 3,4 学年～ 絵の中に開く仕組みを取り入れたり、木を組み合わせて動物の家を形に表したりする活動を通して、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ活動</p> <p>第 5,6 学年～ 様々な色や強さの光を当てて美しい空間をつくったり、安全で安心な町づくりを計画して模型で提案したりする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ活動</p>				

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ 「カラフルいろみず」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、色水をつくりながらしてみたいことを考え、友達と話し合い、色のつくり方を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 3,4 学年～ 「切ってかき出してくっつけて」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、用途に合わせた用具の使い方を考え、友達と話し合い、用具の使い方を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 5,6 学年～ 「わくわくプレイランド」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、木の枝を使って遊ぶものを考え、友達と話し合い、お互いの作品のよさを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・ 排列、 分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第 1,2 学年～ 砂や土の造形遊び、身近な自然のスケッチなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 3,4 学年～ 布をつなぐ造形遊び、大きな透明シートを使った造形遊びなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 5,6 学年～ ビーズを使った迷路、自然を感じる造形遊びなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 「造形遊びをする活動」が 18 ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が 68 ページ、「鑑賞する活動」が 12 ページであり、総ページは 132 ページで、前回よりも約 16% 増となっている。 (判型は A 4 判)</p> <p>第 3,4 学年～ 「造形遊びをする活動」が 18 ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が 68 ページ、「鑑賞する活動」が 10 ページであり、総ページは 130 ページで、前回よりも約 14% 増となっている。 (判型は A 4 判)</p> <p>第 5,6 学年～ 「造形遊びをする活動」が 10 ページ、「絵や立体、工作に表す活動」が 64 ページ、「鑑賞する活動」が 12 ページであり、総ページは 130 ページで、前回よりも約 14% 増となっている。 (判型は A 4 判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「教科書 美術館」に、「あみのもりのいきもの（北海道）」や「日ノ浜遺跡出土の動物土偶（市立函館博物館）」を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「ひらめきポケット」（全学年）に、試したくなるテーマを設定したり、発想を広げる多様な図版を掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、学年に合わせ、文字の大きさを調整したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、旭川美術館を利用できるよう「美術館へ行こう」が紹介されるとともに、植物や氷、雪などを利用した題材として「いろみずをこおらせて」、「友だち見つけた」、「み近なしぜんの形・色」、「小さな自分のお気に入り」、「ここにいたい」を掲載している。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTの活用については、「光とかげから生まれる形」でプロジェクターや投光器の利用，「形が動く絵が動く」でデジタルカメラの利用，デジタルカメラの接写モード，インターネット，著作権等について学ぶなど，多くのICTを活用できるよう，活動例が紹介されている。 ○ 小・中連携による指導については，第5,6学年下「中学生になるあなたへ」で小学校での図画工作を振り返り，中学校へ向けてのメッセージが掲載されている。
本市児童の学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品を制作する中で，制作活動を振り返ったり，見直しをもって学習を進めることができるよう，活動の後に考えてみるヒントになる言葉を題材ごとに明記するとともに，どの題材例でも，「試す」「確かめながら作る」という学習の流れを掲載するなどの工夫がなされている。 ○ 児童同士が対話などの交流を通して感じ方や考え方を深めることができるよう，児童のつぶやきの例を吹き出しに表して分かりやすくなるよう配慮がなされている。
その他	